

同心

DOHSIN

1996

6号

クリニックだより

発行者

医療法人 いしぐろクリニック
金沢市窪4丁目515番地
TEL (0762) 43-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、癒すひと。同じ心でいたいものとの願いからつけました。

MRI (磁気共鳴装置) の器械を新しくしました

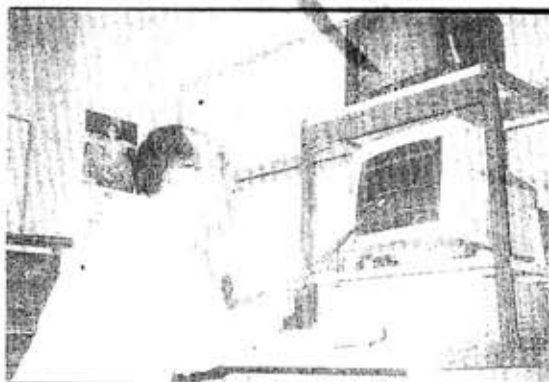
院長 石黒 修三

私が強い関心をもっていることの一つに、脳の動脈瘤を早く見付けたいということがあります。そこでクリニックでは、この度新たに、これまでよりも短い時間で鮮明な血管撮影ができるMRI (磁気共鳴装置) を入れました。

前の器械は、故障の少ない良い装置でした。購入してからまだそんなに時間は経っていませんでした。車の買い替えてさえいたくです。まして、これから使いこなしていくべき高額の医療器械でした。「それを変えてしまうなんて、常識では考えられない」と、あきれられるひともいました。でも私は、ひとつ思いつくとユーターンできません。どうして

も欲しいと思うと、もうダメです。新しい器械なら自分の思ったことができ、患者さんの負担も軽くなるのですから。

いくつも動脈瘤が見付かっています。もちろん、くも膜下出血を



起こす前に手術を受けてもらっています。もしも検査をしないで、患者さんは瘤があることを知らないうちに、あるときそれが破れたらと思うとゾッとします。直径が1、2ミリの細い脳の血管の枝分

かれするところに瘤ができます。風船がふくらむように少しづつ瘤が大きくなっていきますが、症状はまったくといってよいほど出ません。しかし、瘤の直径が5-6ミリ以上になると、大概の瘤は破れくも膜下出血を起こしてくるのです。

くも膜下出血を起こせば、約半数のひとは死んでしまうのです。手術をしても、いや手術すらできない状態になってしまうのです。昔はずいぶんと悔しい思いをしたのです。こういう状態になる前に脳の血管を調べていってくれたら。せめて、軽い出血の段階で専門医の診察を受けていってくれたら死なずにすんだものをと。

もちろん、この検査で1、2ミリの瘤まで100%見つかるとは言えません。でも、35歳過ぎたら自分の脳や脳の血管を調べておくことはすでに、責任のある立場にいるひとの良識になっているように思われます。

同心会セミナー

平成8年3月13日(水)

去る3月13日、金沢ニューグランドホテルで同心会の「セミナー」が行われました。まだまだ寒い中、120名近くの方達にお来し頂きました。

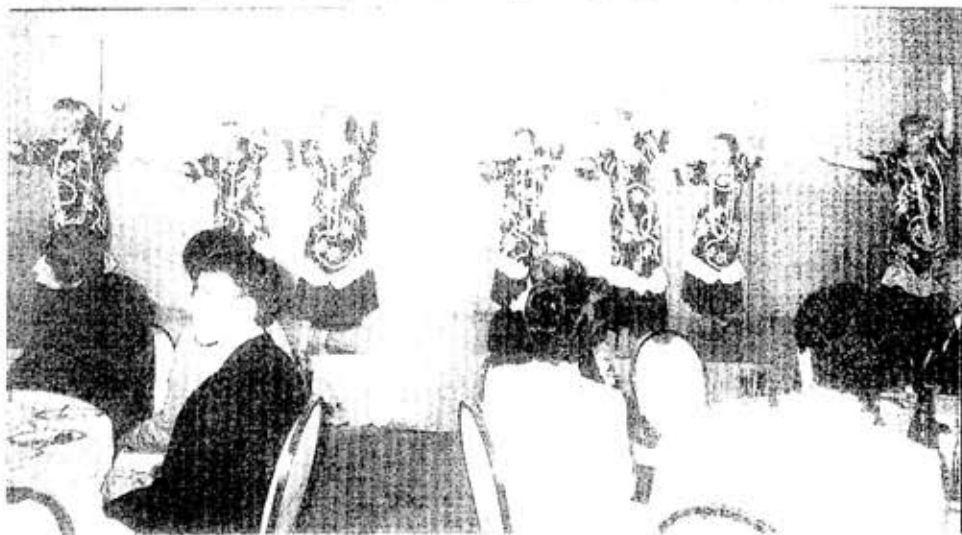
院長より、かくれ悩卒中について、の講演がありました。スライド写真を利用して説明して下さい、実際の医療現場にて行われている生々しい治療写真等もありました。講演内容は、とても理解しやすいものだったと思います。何も分からなかった私が、動脈瘤や脳梗塞について、簡単にですが理解できたのですから。

講演の後は、バイキング方式で食事会がありました。料理はどれも皆おいしく、つついとお皿いっぱい取ってしまったのは私だけではなかったと思います。

この間ずっと舞台の方ではフラダンスが披露されていました。

スでした。

つつい見とれて、食べる手が止まった方、気分良くなりアルコールがすすんだ方等いらつしやったのではないのでしょうか。次から次と衣装を換えられ踊ってらつしやる方達は、とても若々しく見えました。実は、後で踊ってらつしやった方達の年齢層を聞いて、皆で驚いていたんです。実際の年齢よりずい分若く見えたものから、そのきれいな方達から、投げキスの嵐を受けた院長は、とても照れていらつしやいました。私達をほんの一時だけ、気分を、ハワイ、夏にしてくれた素敵なフラダン

自宅のできる
リハビリ

腰痛でお悩みの方、腰痛体操をお勧めします。

注意点は、痛みが激しいときは体操しないこと。運動と休息をうまく組み合わせ、ゆっくり行うこと。体操中に痛みだしたら中止して休んで下さい。それでは始めましょう。それぞれを繰り返さないです。

——まず、膝を軽く曲げて仰向けの姿勢になります。

1、腹筋運動です。上半身を起こせなければ、肩甲骨を床から持ち上げるだけで結構。上がったらそこで1、2と2つ数えてから力を抜いて下さい。

2、腰を上げないでお尻だけを床から持ち上げます。

3、両手で両膝を曲げたままかかえ込み、1、2と2つ数えてから脚を伸ばします。

あっと驚く脳腫瘍

最近のことです。脳腫瘍が3件、続いて見つかっていきます。人口1万人あたり1人。これが1年間に見つかる脳腫瘍の平均的な数です。減多に目にはかららないものなのですが……。

頭痛で10年近く治療しているAさん。確か3年くらい前にCTをチエック。もちろん異常なしでした。「ま、1回MRIでもやっておきますか」ということで検査。直径約5センチの良性の脳腫瘍が頭の真中にできていました。ガン。

「ひょっとしたらストレスのせいかも」と言って来院したB子さん。いつもな

ら、「そうです。検査は時間とお金のムダです」と言っ

て、MRIでは、右の前頭葉に大きな脳腫瘍が見つかる。私はラッキーでしたが、B



子さんはお気の毒でした。

頭がふらつくという訴えのCさん。高血圧と言われて治療されていたが良くなるらない。主治医に無理を言っ

て、帰ってもらったところだ。この日はなんとなく胸騒ぎ。

が、うそ、うそという時代なのかもしれない。(院長)

検査のため来院。右の後頭葉に良性腫瘍が見つかる。バンザイ。と、悲喜交々です。3人の方々はどうな

— 次は、脚を伸ばして座って下さい。

4、脚を伸ばしたまま、上半身を前に曲げます。

— 今度は立った姿勢です。

5、両脚を前後に大きく開いて、前に出した脚は膝を大きく曲げてしゃがみ、後ろの脚は、膝を真っすぐ後ろに伸ばしておきます。両手を床について腰を床に向かって押しつけるようにします。

6、両脚を軽く左右に開いて立ち、かかとを床につけたまま、立ったりしゃがんだりします。

— 以上が、ウイリアムズ腰痛体操です。それぞれの体操を繰り返して10回程、朝の起床時に、昼食後に、夜寝る前にと、1日3度毎日続けて頑張ってみて下さい。

(理学療法科 金田 記)

随想

「後ろに迫れり……」

柄田 幸子

夫は、極めて丈夫な胃腸を持っていた。好き嫌いなく食し、大食漢であった。夏休みの初日の、あの日は、久し振りに帰省した娘を交えて、四人で昼食をとった。子らが食べなかつた菜も、きれいに片付けていた。それから数時間の後、外出先で大量の吐血があり、救急車で運ばれたのである。連絡を受けた私には、何が、どうなったのか、よく飲み込めなかつた。医師から、噴門部の進行性胃癌だという説明を聞かされたときは、どうして自分の夫が、と何者かに向かつて憤っていた。幸い、多量の出血にもかかわらず、輸血と胃の三分の二を切除する処置で、一命を取り止めた。その癌告知は、平成三年の夏のことだった。

術後の、やや体力の落ちた身体ではあったが、秋も深まったころ、

職場にも復帰でき、ドライブも楽しむことができるようになった。

しかし、病果は不気味に肉体の奥に潜んでいて、翌年の秋には、下腹部に魔の手の延ばし、直腸や腎臓を犯していった。襲い来る病苦に、夫はよく闘った。思い出せば、

夫はいつも褒詞を惜しまない。苦痛を伴う、あらゆる検査と治療を敢然と受けた夫は、勇敢だった。二年半の闘病だった。享年五十五歳。

いま、十六歳の高校生たちと、鎌倉時代に書かれた随筆、吉田兼好の「徒然草」を読んでいる。「……

木の葉落つるも、まず落ちて芽ぐむにあらず。下よりきざしつはるに堪えずして落つるなり。迎うる

気、下に設けたる故に、待ちとるついで甚だはやし。生・老・病・死の移り来ること、またこれに過ぎたり。四季はなほ定まれるついであり。死期はついでをまたず。

死は前よりしも来らず。かねて後ろに迫れり。人みな死あることを知りて、まつこと、しかも急なら

ざるに、覚えずして来る」という箇所が、実感できる年になった。

たしかに、四季の推移にはまだ定まった順序があるが、死らは順序もなく突然にやってくる。老母を残していかねばならない死もある。いつの間にか後ろから接近しているものなのだ。前から来れば少しは察知できるかも知れないが、ふいに背後から襲撃されると

いう感じなのである。人は、後ずさつて進んでいるという。背後にある未来に向かって歩いているのだ。何も見えない。

夫の胃に大きな潰瘍ができていて、共に生活している私がそれに気が付かなかつたことが、恥ずかしい。定期検診を一月後に控えての吐血まで、わからなかつた。

罪ほろぼしの気持ちもあつて、平成八年の初春に看病記、夫にとつて看病記「冬の日時計」を出版した。いま、私は拙著を繰り返し読んで、夫の勇気と優しさに感謝する毎日である。

講演と親睦会の

ご案内

講演「健康に良いって、

それホント？」

講師…石黒修三院長

日時…11月27日(水曜日)

午後6時30分から

場所…ホテル東急

親睦会参加費…5千円

どなたでも参加できます。

クリニック受付へお申し込みください。

編集後記